

自給飼料の生産拡大

【9,698百万円】

対策のポイント

国産飼料の一層の生産と利用の着実な拡大により飼料自給率の向上を図り、国内の飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営を確立します。

<背景／課題>

- ・ 畜産物の生産コストに占める飼料費の割合は、酪農及び肉用牛生産で約4割、養豚及び養鶏で約6割となっており、飼料価格、特に濃厚飼料原料の大宗を占める輸入穀物の価格動向は、畜産経営に大きく影響します。
- ・ 我が国の畜産・酪農の競争力を強化するためには、輸入飼料依存から脱却し、国産飼料の一層の生産と利用の着実な拡大により飼料自給率を高め、国内の飼料生産基盤に立脚した力強い畜産経営を確立していくことが重要です。

政策目標

- 飼料自給率の向上
- 飼料作付面積の拡大

<主な内容>

1. 飼料増産総合対策事業（草地難防除雑草駆除対策事業） 2,002百万円

難防除雑草駆除計画を策定し、その計画に基づく高位生産草地への転換（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材投入、優良品種の導入（畑作物を除く）等による施工）の取組を支援します。

（補助率：定額、1／2以内
事業実施主体：民間団体）

2. 飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業 5,938百万円

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）が行う飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備を支援します。

（補助率：定額（事業実施主体へは1／2）
交付先：（独）農畜産業振興機構
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構による公募）

3. 配合飼料供給体制整備促進事業 358百万円

国産飼料原料を活用した配合飼料の低コストかつ安定的な供給体制を構築するため、国産飼料原料供給業者や配合飼料工場等が連携して行う計画策定、低コスト流通モデルの普及啓発、設備導入等の取組を支援します。

（補助率：定額、1／2、1／3以内
事業実施主体：民間団体）

4. 草地関連基盤整備＜公共＞ 1, 000百万円（農村振興局計上）
農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための大型機械体系に対応した効率的な飼料基盤の整備を支援します。

離農農家の草地の円滑な継承を図るため、新たに草地改良と併せて行う施設用地確保のための離農施設の撤去や、牧柵の除去等の簡易な基盤整備等を支援します。

農業農村整備事業（草地関連基盤整備）
補助率：1／2等
事業実施主体：都道府県、事業指定法人等

5. 自給飼料の生産拡大を支える研究開発 400（一）百万円

畜産物の低コスト安定生産を図るため、イアコーン（子実、芯、穂皮から成る雌穂）など新たな自給飼料の給餌と放牧を組み合わせた牛肉生産技術体系を確立するための実証研究を推進します。

農林水産業の革新的技術緊急展開事業のうち
畜産の競争力強化のための技術体系確立
補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

お問い合わせ先：

1、2の事業	生産局畜産振興課	(03-3502-5993)
3の事業	生産局畜産振興課（畜産側）	(03-3591-6745)
	生産局穀物課（耕種側）	(03-3502-5965)
4の事業	生産局畜産振興課	(03-6744-2399)
5の事業	技術会議事務局研究推進課	(03-3502-7437)

自給飼料の生産拡大

飼料増産総合対策事業 (草地難防除雑草駆除対策事業)

- 難防除雑草駆除計画を策定し、その計画に基づく高位生産草地への転換の取組を支援。
※ 従来の草地改良の補助率 1/3 から 1/2 に嵩上げするなどし、集中的に実施

< 難防除雑草駆除対策例 >

- ・ 除草剤の新たな組合せによる施用法
- ・ 雑草を完全駆除するために1~2期作を他作物に転換し、草地を再生



< 難防除雑草の例 >
ギンギン ワルナスビ



難防除雑草の繁茂しない生産性の高い
草地が、飼料作物単収向上に重要。

計画に基づき除草剤の散布等を実施

配合飼料供給体制整備促進事業

- 国産飼料原料を活用した配合飼料の低コストかつ安定的供給体制構築のための計画策定、低コスト流通モデルの普及啓発を支援。
- 計画に基づく設備導入等の取組を支援。

国産飼料原料を含む配合飼料
供給体制の整備計画

〔関係配合飼料メーカー、JA等
による協議会における検討〕



計画に基づく取組



バラ出荷設備



受入施設

普及啓発

飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業

- 畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家等）が行う飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備を支援。



飼料用米等の利用拡大

米粉碎機



飼料保管タンク



自動給餌機



混合機



草地関連基盤整備<公共>

- 農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための大型機械体系に対応した効率的な飼料基盤の整備を支援。
- 離農農家の草地の円滑な継承を図るため、草地改良と併せて行う施設用地確保のための離農施設の撤去を支援するとともに、牧柵の除去等の簡易な基盤整備を推進。



区画拡大等による効率的
な飼料生産を実施



収穫した飼料を利用する
農業用施設の整備

自給飼料の生産拡大を支える研究開発

- 畜産物の低コスト安定生産を図るため、革新的な技術体系を導入した実証研究を推進。

イアコン(子実、芯、穂皮
から成る雌穂)など新たな自
給飼料の給餌と放牧を組み
合わせた牛肉生産技術体系
の確立に向けた実証研究



輸入飼料依存からの脱却を目指し、畜産農家の経営の安定化とともに食料自給率の向上に寄与し、力強い畜産経営の確立に寄与。